

令和6年度事業報告

学校法人新宿学園

<学校法人>

I 概要

昭和39年4月東京バーテンダースクール調理師科として厚生大臣から調理師養成施設（定員昼間部50名2学級）の認可を受け、生徒25名をもって開校、昭和41年新宿調理師専門学校と改称、昭和59年に学校法人認可となり平成元年学校法人新宿学園と改称し現在に至っている。

令和5年まで総定員680名（昼間部本科一年生120名・二年生専修科320名・夜間部本科二年生240名）となっていたが、コロナ以降学校見学者が少なくなりそれに応じて出願者が激変し定員確保が難しくなったため、令和6年6月に定員変更を申請し現在は総定員560名（昼間部本科一年生80名・二年生専修科240名・夜間部本科二年生240名）に変更した。

少子化による出願者の減少は避けることが出来ない現況であるが、本校独自の強みである立地条件、すべてのジャンルを学べるカリキュラム、田植えから収穫まで農作業体験実習・卒業生オーナーシェフ・調理長を授業に招聘し特別授業として実施することにより就職・将来の指針をしっかりと定める学校を目指し今後も進めてゆきたい。

また、施設関係では令和4年レストラン実習室改築に当たり、外庭に冷暖房機器を設置したために、レストラン側のガラス塀が熱により痛みが激しくなり、倒壊の恐れがあることから、その部分を5月26日に撤去、新しい外塀を取りつけた。

なお、校舎全般に関しては玄関先の雨漏り等不備の状況が依然続いており、老朽化による不備は避けられず、学園全体の雨漏りおよび壁面調査をお願いし、令和7年度工事に向けて建築の専門家である中藤昌彦氏（一級建築士・一級建築施工管理技士）を学園建築顧問になって頂きアドバイスを頂き、調査を依頼し最終的に3業者から依頼業者を選定し大規模修復工事を始める予定である。

また、調理実習台も東日本大震災時に新しく総入れ替えを行ったが、これも10年以上経過し徐々に老朽化していることから、令和8年3月に5階6階実習室床の調査、および床改修と、現在使用している実習台を、新しい実習台と入れ替えを予定にしている。

Ⅱ 人 事 組 織

令和5年8月、前校長上神田梅雄氏の任期途中退任に伴い理事会・評議員会の承認を得て急遽理事長である関川恵一理事長が校長兼務することとなったが後任として、令和6年4月より中国料理教員・教務課長の内野潤氏を副校長として任命・令和7年2月の理事会・評議員会において令和7年度4月より校長として新しい学園作りにスタートを切ることとした。

また令和7年私学法の改定により下記の通り理事選任機関（理事会）において新役員が決定した。

理 事	関川恵一	理 事	右近龍也	理 事	金井弘子
校 長	内野 潤	理 事	小林 完	理 事	清水憲二
理 事	田中礼子				
監 事	熱田稔敬	監事	白土英成		以上9名

また評議員については前環境副大臣・衆議院議員の山田美樹先生を含め8人が選任された。

教職員評議員	大山喬之・星野和加奈
卒業生評議員	堀 勝紀・嘉茂竜二・平野善光
学識経験者	山田美樹・岸村康代・中村早苗

以上8名

Ⅲ 各事業実施状況

① 採用関係

令和6年4月採用	馬場希依子（栄養士・実習助手）
令和6年4月採用	小林園美（栄養士・実習助手）令和6年11月退職
令和6年4月採用	中西理菜（管理栄養士・実習助手）令和6年6月退職
令和5年5月採用	竹内維南（管理栄養士・実習助手兼座学教員）令和7年2月退職
令和6年6月採用	渡辺陽平（管理栄養士・実習助手兼座学教員）
令和7年1月採用	荒井梨恵（総務課長として採用）
令和7年2月採用	糠信忠志（卒業生／元居酒屋伊三郎オーナー・レストラン実習責任者）

令和7年3月採用 梅原里佳（栄養士・実習助手）

令和7年4月採用 佐野 舞（令和7年3月本科卒業・実習助手）

令和7年4月採用 萬成天音（管理栄養士・実習助手兼座学教員）

② 退職関係

令和6年4月 清水 彩（勤続14年）

令和6年6月 塩田淳子（勤続20年）

令和6年12月 市川宗民（勤続3年9ヶ月）

令和6年12月 近藤祐輔（勤続1年10ヶ月）

令和7年3月 斎藤あゆみ（勤続9年1ヶ月）

③ 入学者数の状況

・昼間部 本科 61回生	36名	
・昼間部 専修科22回生	50名	
・夜間部111回生	119名	合計205名

④ 卒業者の状況

・昼間部 本科 61回生	35名	
・昼間部 専修科21回生	44名	
・夜間部110回生	109名	合計188名

1、役員会等開催状況

(1) 理事会

第1回理事会	4月26日	令和5年度事業報告・収支決算に関する件
第2回理事会	同日	令和5年度第1次補正予算に関する件
第3回理事会	6月10日	学則変更（定員数変更）に関する件について
第4回理事会	同日	令和5年度第2次補正予算に関する件
第5回理事会	同日	寄附行為改定および就業規則等改定に関する件について
第6回理事会	9月9日	寄附行為改定（私学法改正）に関する件について
第7回理事会	同日	学則変更（学費改定）に関する件
第8回理事会	同日	法人社内規程の改定および新年度の校長人事案について

第9回理事会	同日	損害賠償請求訴訟に関する件
第10回理事会	同日	寄附行為改定最終確認について
第11回理事会	7年2月26日	理事選任に関する件
第12回理事会	同日	令和7年度事業計画および収支予算案
第13回理事会	同日	大規模修繕工事・調理実習室改装および改装費用借入金申請
第14回理事会	同日	法人諸規定変更の件
第15回理事会	3月26日	次期評議員選任について
第16回理事会	同日	次期校長選任・次期理事選任および次期理事長選任の件
第17回理事会	同日	令和7年度事業計画および収支予算について

(2) 評議員会

第1回評議員会	6月10日	令和5年度事業報告および収支決算について
第2回評議員会	同日	学則変更（定員変更）について
第3回評議員会	9月9日	寄附行為変更について
第4回評議員会	同日	学則変更（学費改定）について
第5回評議員会	7年3月26日	次期校長選任・次期理事選任について
第6回評議員会	同日	令和7年度事業計画および収支予算について
第7回評議員会	同日	次期評議員選任について
第8回評議員会	同日	大規模修繕工事の件

(3) 監査ならびに資産変更届

5月7日 令和5年度会計帳簿および関係書類ならびに理事の業務執行についての監査
5月30日 東京都資産総額変更登記申請 6月27日受理

2、その他の状況

(1) 特別指導待遇生

被災地支援活動として震災直後から実施してきた特別指導待遇生を平成26年度から「学僕」に呼称を改め被災地に限定することなく広く応募を募ってきた。

特別指導待遇生は授業料を始め、その他入寮費・食費・生活費など生活に必要なものを全て学校が負担し、技術指導のみならず普段の生活指導にあたっても将来のリーダーとなるべく学校全体で教育指導を行っていたが令和5年度は希望者が現れなかった為、令和6年度から寮の借上げを止めて自宅通勤者なら可能として募集していた。

夜間部111回生として入学した村田達行を特別指導待遇生として面接し採用したが11月にやる気を失い学校も退学することになった。

改めて特別指導待遇生について考える必要があると思われる。

(2) 広報活動 学校案内 10,500部 入学要項 11,000部

① 見学会 DM 印刷物 6種 9,500部

② 広報誌 1社 3種類

③ 広報ネット 5社

④ 駅看板 西武新宿駅改札出口 大宮駅埼京線ホーム内ベンチ広告

(3) その他・校舎使用状況

① 6年11月27日

株式会社新東調理士会（代表取締役社長 湯浅 祐司）主催

鰻プロフェッショナル講座開催

② 7年3月19日

一般社団法人大人のダイエット研究所（岸村康代代表）主催

「はなびらたけ」普及講習会 中国料理店「美虎（みゆ）オーナー五十嵐美幸氏

(4) 学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会開催状況

学校関係者評価委員会 令和6年7月15日

島崎 豊氏（永和商事株式会社 月亭本店料理長）

石井正浩氏（株式会社共立トラスト代表取締役社長）

教育課程編成委員会 2回開催 令和6年11月8日・令和7年3月26日

苅部政一氏（東白庵かりべ店主 卒業生）

西宮孝哲氏（東京都日本調理技能士会 副会長）

<新宿調理師専門学校>

I 概 要

前校長上神田梅雄氏が5年8月に退任した為、法人業務と学校教育事業を関川恵一理事長が兼務して実施した。

専修科設置より23年経過したが、女子の応募について大きな変動があった。一時期女子の応募が多くあり、人数の割には女子ロッカーが狭いとの声もありロッカー室内のレイアウトを変え女子ロッカー室を広めにしたが現在は女子希望者が他の学校に移っている。

女性の希望者が多くなるような取り組みも考える必要がある。外来講師も「赤坂離宮銀座店 点心師」正木香奈先生、製菓・レストランの「yerite (イエット)」オーナー石飛 唯先生など卒業生である女性講師を招聘し、女子の頑張る姿、活躍の場を見せて女性が求める憧れる存在とし出願者確保に努めることとする。

また、クラスの活動状況を知る為に月一度の定例会(職員会)を実施し、教員に発表する機会を設けクラスの様子などを月ごとに確認できるようにした。

生徒会活動ではコロナの影響が薄らいだこともあり生徒会を復活させた

野球部・西洋料理研究会・カクテル研究会・フルーツカッティング研究会を結成

野球部は東京都専門学校野球連盟主催の春季大会・秋季大会に参加したがいずれもコールド負けに終わった。また大会とは別に12月には障がい者野球チーム・香川調理製菓専門学校と3チームで交流試合を行い障がい者チームに敗戦・香川調理には勝利し1勝1敗で終え思い出作りをすることが出来た。(障がい者チームとの対戦については日刊スポーツに掲載された)

本年度の調理祭は開校以来、毎年1月末の日曜日に開催するものを、全国調理師養成施設協会の技術考査と重なるため、2月の第1週に変更し実施した。

生徒の作品数は日本料理15作品、中国料理15作品、西洋料理17作品合計47作品を展示、今年度の理事長賞は西洋料理部門で本科Aクラスが獲得した。

催物ではNPO法人日本氷彫刻会会長の鶴見義雄先生にご依頼「野菜彫刻デモンストレーション」を6階デモンストレーションルームにて実施し開催前に満席となり大盛況のうちに終え

ることが出来た。また来場者に対する模擬店も5階・6階を利用し「塩ラーメン200食」「ハッシュドビーフ220食」を完売し、こちらも盛況のうちに終了することが出来た。

夜間部に関しての募集は、若干減り気味であったが、16時クラスは早々と定員に達した。今後も気を抜くことなく募集をしっかりと行い生徒に喜んでもらえる学校にして行くよう努力を重ねる必要がある。

専修科では卒業生オーナー・調理長を中心に学園に愛着を持って頂いている料理人に「料理の楽しさ」「現場の厳しさ」等を伝えていただき、デモンストレーションだけでなく実習を伴った形態に変更した。

5月13日に専修科1年クラスはキッコーマン醤油工場見学・見学後、懇親会としてバーベキュー会食を実施。1年次には「清潔で衛生的な扱い」を中心に調理実習では基礎知識と技能の修得とともに、後片づけ、包丁の手入れなど器具を大切にすることの重要性に努めた。

2年次には、調理の各ジャンル（和・洋・中）の応用編（和菓子・寿司・天ぷら・蕎麦・うなぎ等）の実習授業を数多く取り入れ実施した。

その他、大地に学ぶ農体験授業などは事業計画の通り、場所を千葉県からコロナ前のさいたま市「見沼たんぼ」に移して実施した。

5、就職指導について

生徒自らが自発的に就職活動に取り組むような支援体制をさらに整え、卒業生全員が飲食業界への就職内定を得ることとなった。

II 各事業報告

1、学級編成

・昼間部	調理師本科	1学級
	専修科1年	2学級
	専修科2年	2学級
・夜間部	109回生	3学級
	110回生	3学級
	合計	11学級

2、年間行事

4月9日 入学式 四谷区民ホールにて実施

新年度(令和6年度)より入門式呼称を「入学式」に改めた

- 5月13日 キッカーマン工場見学
- 5月27日 田植え 生徒76名参加
- 6月5日 新宿警察防犯ボランティアキャンペーン
- 6月13日 体育祭（スポーツフェスタ2024）東京武道館にて開催
- 9月21日 稲刈り 生徒62名参加

令和7年

- 2月2日 調理祭 開催
- 3月14日 卒業式 実施

昼間部は午後1時から夜間部は午後6時から学内において挙行了た。
来賓として学科を担当いただいている外来講師をお招きした。

以上